

ビジネス抜きでも 水を守れる おとなになろう。



水のがっこうから問題です。

このままあなたやみんなが水を使いつづけると、一体どのくらいの人たちが水不足に直面すると思いますか？

——こんな問題も、このまちの子どもたちなら即答できるかもしれません。

福井県大野市。かつて地下水の過度の汲み上げによる井戸枯れを経験し、市民一丸となって再び地下水を取り戻したまち。

限りある水を知り、協力しあうことで水は守れるのだと学んだ大野は、その学びや水の知見を集積する「水のがっこう」として、

国内外の研究者たちとも知見交流。子どもたちへの教育に生かす一方、今年ブラジルで開催された「世界水フォーラム」にも参加、

小さなまちの活動は世界の国々と手を取りあうことも始めています。

さて、冒頭の水問題。答えは世界人口の2/3もの人たちが数年後には水不足になると予測されています。

世界経済フォーラムでも、このままだと世界経済にとって大きなリスクになると警鐘を鳴らす問題。日本も無関係ではられません。

営利や利権から水を取りあう前に、さあ、手を取りあっていこう。水のがっこうが世界に輩出したいのは、

ビジネス抜きでも水を守っている、そんな真の、水のプロフェッショナルです。(参考文献: 沖大幹「水の未来」岩波新書、2016)



www.carrying-water-project.jp



水を守ろう。手を取りあって。きょう8月1日は「水の日」です。

